

昨年のカレンダーリサイクル市の様子



書き損じハガキの回収 (左下) と、カボチャ販売 (右下)

西部中学校は市内で唯一、ユネスコスクールに認定されています。ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)は教育や科学、文化などの活動を通じて世界平和に貢献する国連機関の一つ。その理念を学校現場で実践するのがユネスコスクールです。西部中学校は平成24年1月に認定され、農業体験や福祉学習、救命救急講習、国際交流学習など、さまざまな活動に取り組んでいます。

北広島ユネスコ協会が毎年1月に開く「カレンダーリサイクル市」に



西部中学校が取り組む

ユネスコスクール活動

も、生徒たちがボランティアで参加します。不要なカレンダーを集めて販売し、収益を就学支援などに寄付する催しです。今年のカレンダーリサイクル市は今年10日、12日にエルフィンパークで開かれ、生徒たちは11日と12日に参加します。

カレンダーのほかにもカボチャを11日の午前に販売。ユネスコスクール活動の一環として、農業などを学ぶために生徒が栽培した「雪花粧」という品種です。

書き損じハガキの回収も実施。収益は貧困や戦争などで教育の機会に恵まれない途上国の方々に、学びの場を広げるために使われます。

「活動を通して生徒たちはボランティア精神を身に付けています」と教頭の丸山真嗣典さん。

世界に目を向けて活動する生徒たちを応援したいですね。



今年販売するカボチャ。立派に育ちました



日本ユネスコ協会連盟から送られた感謝状

まめ記者

私たちの大曲小学校



大曲小学校6年 田中友理奈さん (児童会長)

開校126周年の大曲小学校は、全員が元気に輝ける学校です。

最近では給食の「残食0」を全校で目指しています。大曲小は残食が多い学校と言われていることを聞いて、6年生を中心に残食がなくなるように努力しています。苦手なものでも頑張つて食べたり、おかわりできる人はおかわりしたり、みんな自分のできることを協力しています。今では、学校全体で残食の量が減りました。

書局では、12月に行われた「思いやり集会」で、「思い出紙飛行機」という企画をして、みんなが思いやりの心を持つている優しい学校にしようと頑張っています。これからも大曲小を良い学校にできるように活動していきます。

楽しい思い出を壁に飾っています

